

TONARI

2014 春号

グッドネーバーズ・ジャパン会報

目次

- | | |
|-----------|---------------------|
| P2 海外事業 | フィリピン 台風緊急支援報告 |
| P3 | ベトナム 洪水支援報告 |
| P3 | バングラデシュ 歯磨き教室を実施 |
| P4 | 人と人をつなぐ場所 “g-cafe” |
| P5 イベント | ちびっこおえかきコンテスト表彰式 |
| P6 インタビュー | 「smiloop】メンバー紹介 第2弾 |
| P7 お知らせ | スタッフインタビュー：日本教育新聞 |

グッドネーバーズ 活動地域MAP



海外事業

緊急支援

フィリピン台風緊急支援報告



支援物資の配布



屋根が破壊された学校



ギワンの子ども達と斎藤スタッフ



40人分のスペースがあるテント



平常通りの授業ができるように

2013年11月8日、超大型の台風30号（ハイエン）がフィリピン中部を襲いました。フィリピン国家災害対策評議会の報告によると、死者は6200人以上、被災者は1600万人、未だ1785名が行方不明（2014年1月29日付）と、フィリピン各地に深刻な被害をもたらしました。

グッドネーバーズ・フィリピンは、11月11日から緊急支援を開始し、被害が最も深刻なレイテ島のタクロバン地域の6630世帯を対象に食糧を配布しました。

またグッドネーバーズ・ジャパンでは、1月初旬より事務局長の小泉とスタッフの斎藤を東サマール州ギワンに派遣し、子どもの学習環境改善事業を行いました。

※この事業はジャパン・プラットフォームの助成を受けて実施されました。

【支援概要】

期間：2014年1月30日～2月6日

対象地域：東サマール州ギワン内の12の学校

支援内容：仮設教室となるテント20張、ホワイトボード20台、教壇20台

生徒用の机・いす840個、文房具一式840セット

【支援に携った斎藤スタッフへのインタビュー】

・ギワンはどのような状況でしたか？

ほとんどの建物の屋根が吹き飛ばされており、多くの人々がビニール製のテントで生活しています。住民の生活の収入源として重要なココナツの木が根こそぎ倒れ、水道や電気も自由に使えない状況でしたが市場は再開し、にぎわう様子も見られました。

・仮設の教室ができて、どんな変化がありましたか？

以前は授業を行う場所が足りず半日授業を行っていました。テントの設置後は十分なスペースができたため、1日を通して全学年で授業ができるようになりました。また、屋根をシートで覆っただけの簡素な教室では、雨風が強い日は吹き込みが激しくなります。子どもたちの中にはテントがなびく時の大きな音で台風を思い出し、学校に行けなくなるなど不安定な状況で学校生活を送っていました。現在設置されているテントは丈夫な作りなので、子ども達だけでなく先生も、安心して授業に臨む姿が見られました。

・今後の支援計画は？

グッドネーバーズ・フィリピンは今後もギワンに拠点を置きながら、給食支援や校舎再建などの支援活動を始める予定です。

台風30号がフィリピンに上陸してから100日以上が経ちました。日本のメディアで被災情報が報じられる機会もほとんどなくなってしましましたが、いまだ現地では多くの支援を必要としています。どうぞ緊急支援募金にご協力を願いいたします。

※詳しくはHPをご確認ください。

2013年9月～10月にかけて台風が立て続けに上陸したベトナム中部では、甚大な洪水被害が発生しました。家具が水に流され、家が損壊した家庭では、日常生活を送るための生活用品や衛生用品が緊急に必要とされていました。

グッドネーバーズ・ジャパンはベトナム中部フォン・ソン県に事務局長の小泉とスタッフの斎藤を派遣し、1200世帯を対象に、物資配布を行いました。この地域は冬になると一桁まで気温が下がるため、毛布の配布が特に喜ばれました。また、受益者全員が時間通りに物資の受け取りに参加し、この配布に対する期待の高さが伺えました。

※この事業はジャパン・プラットフォームの助成を受けて実施されました。

【支援概要】

期間：2013年11月30日～12月4日

対象地域：フォン・ソン県の12地域

支援内容：衛生用品（歯磨き粉、歯ブラシ、洗剤、生理用品、石鹼、浄水器など）生活用品（おけ・小なべ、中なべ、フライパン、毛布など）



生活用品の配布



物資を受け取った受益者

バングラデシュ 歯磨き教室を実施



歯科医師による指導

2013年6月からグッドネーバーズ・ジャパンのフェイスブックページで実施した『1000いいね！で1000の白い歯キャンペーン』のご報告です。日本の皆様のご協力により1000いいね！を達成し、2013年10月21日にガタイル地域で1102人、2013年10月23・24日にグルシャン地域で900人の子ども達を対象に歯磨き教室を実施しました。この歯磨き教室では、歯ブラシセットの配布や医師による検診、歯科講習を行い、正しい歯磨きの仕方を伝えました。

歯磨き教室実施前、約85%の子ども達は歯科検診を受けたことがなく、自分の歯が健康かどうかかも分かりませんでした。生まれてはじめての検診に、子ども達は緊張しつつもわくわくしている様子でした。

今回の検診や講習を通して、歯の健康の大切さや正しい歯磨きへの理解が一層深まりました。ある女の子は、「歯磨きの大切さを知ることが出来て嬉しい。毎日2回歯磨きをするようにしていて、きちんと歯磨きをすると気持ちよく寝れる。」と語っていました。

虫歯が重症化してしまった場合、費用やアクセスのことを考えると治療は簡単ではないため、予防のための知識づけが重要です。また、このような検診や指導は、定期的に行うことにより効果を発揮します。グッドネーバーズ・バングラデシュでは、毎月歯磨きの大切さを子ども達に呼びかけ、来年も同様、歯磨き教室の実施を検討しています。ホームページにて歯磨き教室実施時の動画を配信していますので、ぜひご覧ください。



歯ブラシを持つ子ども達

人と人をつなぐ場所 “g-café”



g-café（正面）



カフェ店内の様子



Chizukaハーブティー



店内で販売されている民芸品

インドネシアは人口2億人を超える東南アジアの島国です。経済発展が進む反面、都市部と農村部の格差が広がっており、18.7%の人が一日1.25ドル以下の生活をしています。（2009年時点：世界銀行）グッドネーバーズ・インドネシアでは、2013年4月から“Good Café (g-café)”という新しい取り組みを、首都ジャカルタで始めました。g-caféでは、都市部と農村部の住民が一緒にになって収入向上活動や異文化交流に取り組んでいます。

・ユニオンショップ

ユニオンショップとは、地域住民の収入を効果的に生み出すためにつくりられた場所で、住民はg-caféで売りたい商品を持ち込み、販売することができます。ここで得られた収益は地域発展のための活動に使われています。住民オリジナルのブランドも生まれていて、Chizukaというブランド名のハーブティーやバナナチップ、穀物で作ったHorasと呼ばれるお菓子などがその例です。この活動を通して、住民自らが中心となって商品の改善やマーケティング活動を行うことで、彼らの自立を促しています。

・カフェテリア

g-caféでは紅茶やコーヒー、サンドウィッチなどの軽食の販売も行っています。この活動の収益も住民の収入向上に役立てられています。売れ行きは好調で、2013年9月には2739ドルを売り上げました。今後は料理人やバリスタを雇い、他のメニューも増やしていく予定です。

・カルチャー教室

現在、このカルチャー教室では韓国語の授業が行われています。それ以外にも主婦を対象にしたリサイクル講座や「国際女性の日」などの国際的な記念日を宣伝するキャンペーンが行われる予定です。

・フェアトラベル

海外からの旅行者と住民の交流の場として、フェアトラベルという取り組みも行っています。旅行者はグッドネーバーズ・インドネシアの活動地域を訪れ、住民の家に寝泊まりしながら、学校で子どもに勉強を教えるなどのボランティア体験することができます。今後はソーシャルメディアを担当するボランティアを募集し、FacebookなどのSNSを通じてこのフェアトラベルを広めていきます。



g-caféスタッフ集合写真

イベント報告

レポート

ちびっこおえかきコンテスト表彰式

・1300点を超える、カラフルでユニークな作品が勢ぞろい

グッドネーバーズ・ジャパンでは、親子で途上国の問題意識を深める機会を多くの家庭に提供することを目指し、幼稚園・保育園の子ども達を対象にした『親子でチャレンジ国際理解！ちびっこおえかきコンテスト』を開催しました。カンボジアに住む少女ラチャナの生活を描いたDVDを鑑賞し、感じたことやラチャナに伝えたい事をテーマに絵を描いてもらいました。事務所には子ども達が描いた素敵なお絵かきが続々と届き、その総数は1,330作品にもなりました。保護者の方からは、ラチャナへの応援や、日本と途上国の生活の違いに驚く声、「親子で何回もDVDを観た」など、様々なメッセージが寄せられました。

・笑顔あふれる表彰式

2014年1月19日に、JICA地球ひろばで『ちびっこおえかきコンテスト』の表彰式を実施し、170人もの方々にご来場いただきました。審査員の藤崎実氏からは「今回のコンテストは親子のコミュニケーションを増やすし、子どもの想像力をふくらませる良い機会になったのではないか」というメッセージをいただきました。入賞・佳作に選ばれた40名の一人一人に賞状が手渡され、子どもたちは緊張しながらも笑顔で賞状を受け取っていました。表彰されたこれらの作品はラチャナの元へ届けられます。

・参列した方の感想

「立派なコンテストでびっくりしました。それぞれに手渡しで賞状がいただけて感激でした。」

「とても楽しく親子でドキドキしました。」

「世界に対する興味が持てるきっかけになつたらいいなと思います。身近な環境以外にもっと広い世界を知り、お絵かきという好きなことで違う国の人達と繋がれる機会を得ることができてよかったです。」



入賞作品の解説をする藤崎氏



子ども達へ賞状と賞品を授与



広い会場もあつという間に満席に



子ども達が描いた作品の展示



賞状をもって全員で1枚!!



「smiloop」メンバー紹介 第2弾

前号で実施したグッドネーバーズ・ジャパンのユースグループ「smiloop（スマイループ）」のメンバー紹介第二弾です！



曾我晴香 ニックネーム：はるさん（民間企業勤務）

広報担当/10月グローバルフェスタJAPANリーダー

・なぜ国際協力に興味をもったのか

幼少期より海外の文化に触れることが好きで、将来は国際交流を進める仕事がしたいと思っていました。しかし、大学時代にバックパックで旅をして、途上国には交流意欲どころか、基本的な生活さえまともな環境があると実感。国際協力による開発の現状と可能性への興味が高まりました。

・これからのsmiloopの展望は？

昨年は1年目ということで前例がなく、メンバー全員手探りで目の前のイベント企画に尽力してきました。今後は、昨年の活動成果と課題を踏まえて組織基盤を固ると共に、国際協力に興味を持つ人を増やすというミッションを達成していきたいです。

・最後にひとこと

私が当団体を知ったきっかけは、インターネットで見つけた活動報告会(支援国のコーヒーを飲みながら聞ける、アットホームなもの)に行ったことでした。報告会を縁としてユースに参加でき、想いを強く持てば夢へ近づくチャンスはたくさんあるのだと気づきました。皆さんも機会があれば、ユース企画のイベント等にぜひ遊びに来てください。



ブースで説明をおこなうはるさん
(グローバルフェスタJAPAN2013
にて)



萩原慎 ニックネーム：ぎっさん（東京大学経済学部経済学科3年）

3月スタディツアーリーダー

・なぜ国際協力に興味をもったのか

大学2年生の時のインド旅行がきっかけです。インドが好きになったこと、日常的に貧困を目の当たりにしたこと、親しくなったガイドが貧困に対して問題意識を持っていて刺激されたことを通じて、「自分も何か途上国のために貢献したい」と思うようになりました。

・これからのsmiloopの展望は？

発足から早くも10ヶ月が経ちます。勝手が分からず手さぐりで活動してきた経験を通して、様々なことを学びました。今年は、去年までの反省を活かして飛躍の年にしたいと思います。

・最後にひとこと

「国際協力」に関心を持つ人は多いですが、何をすればいいか分からず「興味」だけで終わってしまうのは、もったいないです。そのような人達に、何か行動を起こす機会を提供してくれる場所が、smiloopだと思っています。是非、「興味」だけで終わらせることなく、一緒に途上国の問題について考え行動してみませんか。



子ども向けのワークショップでクイズを出すぎっさん (MDGsフェスタにて)

お知らせ

10円の奇跡キャンペーン：ハート募金箱

グッドネーバーズ・ジャパンでは、10円の奇跡キャンペーンを実施中です。日々の中で世界の子ども達のことを考えていただき、無理のない範囲で少しづつ支援金を貯めていただくという趣旨でご協力をお願いしています。

少ない額でも出来ることは、多くあります。

- ・10円で、バングラデシュの子どもに1回の食事が提供できる。
- ・100円で、カンボジアの25人の子どもに鉛筆が提供できる。
- ・1000円で、エチオピアの6人の子どもに1ヶ月分の学費を提供できる。

そこで、グッドネーバーズ・ジャパンでは、誰でも気軽にご参加いただけるように、“ハート募金箱”を無料で配布しております。個人の募金はもちろん、ご家庭や職場などにハート募金箱を置いて募金をしていただくことも可能です。「毎月決まった額を募金するのは難しい」という方や「財布の中の小銭を片づけたい」時など、皆様の用途に合わせてハート募金箱をご利用ください。毎日の中からいただいたお気持ちを、アジア・アフリカの支援地域へ大切にお届けします。ハート募金箱の申込みなど、詳しくはホームページをご覧ください。

ハート募金の始めかた



申込み



設置

募金キットが届いたら、好きなところに置いてみる



募
金

ひとりで、みんなで、
募金する

集まったお金を
グッドネーバーズ・ジャパンに振り込む



振込み

■振込み方法■

郵便局窓口にある「払込取扱票」または「郵便振替払込請求書兼受領証」に必要事項をご記入下さい。

口座番号：00900-9-78879

加入者名：NPO法人グッドネーバーズジャパン

金額：ご寄付頂きます金額をご記入下さい。

通信欄：特定の地域へのご支援を希望の場合は、地域名をご記入下さい。

対象（カンボジア・インドネシア・ネパール・バングラデシュ・インド・ケニア・エチオピア・チャド）

編集後記 会報『TONARI』をご愛読いただき、ありがとうございます。前述のおえかきコンテスト表彰式にスタッフとして参加させていただきました。子ども達の描いた作品はどれも素晴らしい、幼少期に世界に触れる機会ができたことに対してうらやましく感じました。参加してくれた子ども達の将来が楽しみです。私達も自由な発想を忘れずに、様々な情報を発信していきたいと思っていますので、今後も会報誌『TONARI』をよろしくお願ひいたします。

編集 内田愛美・水野雄太



お問い合わせ・資料請求

0120-916-010 (平日10時～18時)
[Email] sup@gnjp.org

住所変更のご連絡をお願いします！

ご住所やメールアドレスを変更されたサポーター様は、お手数ですが、グッドネーバーズ・ジャパン事務局までお電話、またはメール(左記参照)にてご連絡ください。

子どもサポートー

検索



発行：特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン
〒143-0016 東京都大田区大森北2-14-2 大森クリエイトビル3階
[Tel] 0120-916-010 [Fax] 03-6423-1766 [Email] admin@gnjp.org
[URL] http://www.gnjp.org [Facebook] facebook.com/gnjapan [Twitter] @GNJapan